三才雜録

廿八

1000
帝国図書館
3

国立国会図書館　三才雜録 特1000-3

ガラス使用

特1000
3

禁裏御菊送行烈
北條家方限帳略
源三位頼政六百年追善和歌
日光枉左兵衛略傳
壺井翁座右必記抜書
二條御城乃天守焼失

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

安永八年己亥十一月
主上御不豫ニ及ひ御太切依無御継體
御宮息男祐宮九歳為御養子可
有践祚之旨
叡慮御治定ニ仰出候事

閑院御宮御息男
祐宮九歳為御養子

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

践祚之旨御治定
准后御方御養母ニ被仰出候

一今暁寅刻
上様御養生無御叶崩御之旨ニ被仰出
候

十一月九日
右、堂上方へ出ル書付之
御追号無之内者 先帝ト可奉称旨
祐宮 御践祚十一月廿五日相済

先帝御追号可奉称 後桃園院様
と旨ニ被仰出
御践祚之日ハ九条殿摂政ニ被仰出
主上御諱
兼仁と申奉称由
祐ノ字出不
詩経
桑扈之什
交交桑扈有鶯其羽君子樂胥
受天之祜

安永八年十二月十日

後桃園院　御葬送御道筋

南門ト四脚門ト之間ニ御假門出来　新

（ママ）蒙門ニ御仮門出来ル

右御仮門ヲ御出先ヨリ烏丸通ヲ南ヘ

三条迄三条通ヲ東ヘ寺町迄寺町通

ヲ南ヘ五条迄五条ノ東ヘ伏見街道迄

伏見街道ヲ南ヘ泉涌寺

山車　傳奏　中山前大納言

奉行　葉室右中弁

諒闇　傳奏　櫛笥前大納言

奉行　中山臣中将

十二月十日未刻

赤中越前ヶ百日目付李間十右御

供両人御所ヨリ泉涌寺ヘ発越

町奉行御行列之内先ヘ

同心（カイ）　同　下雑色

同心（カイ）　同　下雑色

町奉行（イ）先　輿力

同（カイ）　与力

上雜色　与力　同心　同

上雜色　与力　同心　同

[illegible]

[illegible]

瀧口　石井義作守

瀧口　宇治正福

福井右兵衛大尉

源正遵

山路右兵衛大尉　平信好

源敦文　豊臣秀時

小野右兵衛少尉　小野政方

川口右兵衛少府　源常祥

三宅右兵衛大尉　源直好

安見右兵衛大尉　源宗春

栗津近江少　平清方

御前殿上人　豊岡中務権大輔　和資

御前殿上人　園池右京権大夫　公輔

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

風早少将
實秋朝臣　童子　同　同 イ死

吉橋少将
季睦朝臣　童子　同　同 イ死

舎人　同　同 イ死　持火舎者

舎人　同　同 イ死　持火舎者

袖岡土佐守
橘芳景　焼香者　藤島藤蔵人
藤原助昊

薮日向守
平清明　焼香者　地小路極鶴
大江俊冬

禁裡ハ取次
町口美濃守　是ヶ行列外之
車副　同　同　同　持 イ桟　持同

御車

禁裡ハ付
渡辺筑後守ハ
車副　同　同　同　同　桟持同

掛杖持　雨皮持　出納　平田大蔵權少丞　職俊

掛杖持　掛竿イ　雨皮持　出納　山科但馬守　生民

小舍人　山科図書權頭　正中

小舍人　栗津兵ア少輔　清益

真継佐渡守　世イ　土佐　景弘　量イ

山科式ア大尉　民イ　生静

藏人所衆　園田義秋　菅原康柄　袖図伊豆守　橘豊実

藏人所衆　上橋民ア大尉　平忠種　滨路織ア佐　藤原正芳

公卿　白丁　小雜色　一條右大臣　輝良　諸大夫円

白丁　小雜色　諸大夫円

国立国会図書館　三才雜録　特1000-3

ガラス使用

小雜色　冂冂冂　白丁冂冂　白丁

小雜色冂冂冂　白丁冂冂　笠持　白丁

素袍冂　白丁　布衣

素袍　諸太夫冂冂　布衣

素袍冂　白丁

廣幡　布衣冂　沓持　番匠冂

前内大臣　布衣冂　沓持　番匠冂

白丁小雜色　白丁小雜色

白丁小雜色　諸太夫冂冂　白丁小雜色

国立国会図書館　三才雜録 特1000-3

ガラス使用

西園寺
前内大臣　小雜色　同　同　白丁　同　同
賞季
小雜色　同　同　白丁　同　同　笠持

白丁　布衣
諸大夫　同
白丁　布衣　葉室二位　諸大夫
イ
頼要
諸大夫

布衣　同　白丁　同
布衣　同　白丁　同　笠持　布衣
久我
源大納言
信通

諸大夫　布衣　同　白丁　同
諸大夫　布衣　同　白丁　同　笠持　布衣

国立国会図書館　三才雜録　特1000-3
ガラス使用

舊司
石大臣 浦平
諸大夫 月 布衣 月 雜色
諸大夫月 布衣月 雜色

白丁雜色月
笠持 諸大夫 白丁布衣
白丁 雜色月 白丁布衣

布衣月月 白丁 雜色
二條大納言 治孝
布衣月月 白丁 雜色

笠持 布衣
布衣 三條大納言 栗晴 諸大夫 布衣
諸大夫 布衣

国立国会図書館　三才雜録 特1000-3
ガラス使用

同白丁

同白丁　笠持　雜色　諸大夫　今出川大納言　実種

小雜色日日　白丁中山大納言　愛親　笠持　諸大夫

小雜色日日日　白丁

小雜色日日　白丁　雜色　布衣日

小雜色日　笠持　雜波　前大納言　宗城

白丁　雜色　布衣日

雜色白丁　橋本

雜色白丁　前大納言　実理　布衣日白丁　沓持

布衣日白丁　笠持

国立国会図書館　三才雜録　特1000-3

ガラス使用

白丁　布衣同　白丁
廣橋
前大納言　勝胤　笠持
白丁　布衣同　白丁

松本
権中納言　布衣　笠持白丁　冷泉
中納言　為泰　布衣同
布衣　笠持白丁

同小雜色　醍醐
中納言　輝久　諸大夫　小雜色
同小雜色　諸大夫　小雜色　笠持

白丁　布衣同　白丁
綾小路
按察使　右羨　石山
白丁　布衣同白丁　笠持　前中納言　基名

国立国会図書館　三才雜録　特1000-3
ガラス使用

布衣同　白丁

布衣同　白丁　栄房　前中納言

布衣同　白丁　池尻　前中納言

大原　布衣同　白丁　中院　源宰相中将　通古

前中納言　重度　布衣同　白丁

諸大夫　雜色白丁　白丁　勧修寺　左大弁宰相　経速

雜色白丁　笠持　白丁

六位侍　雜色　白丁　壬生　前宰相　塞実　布衣　白丁

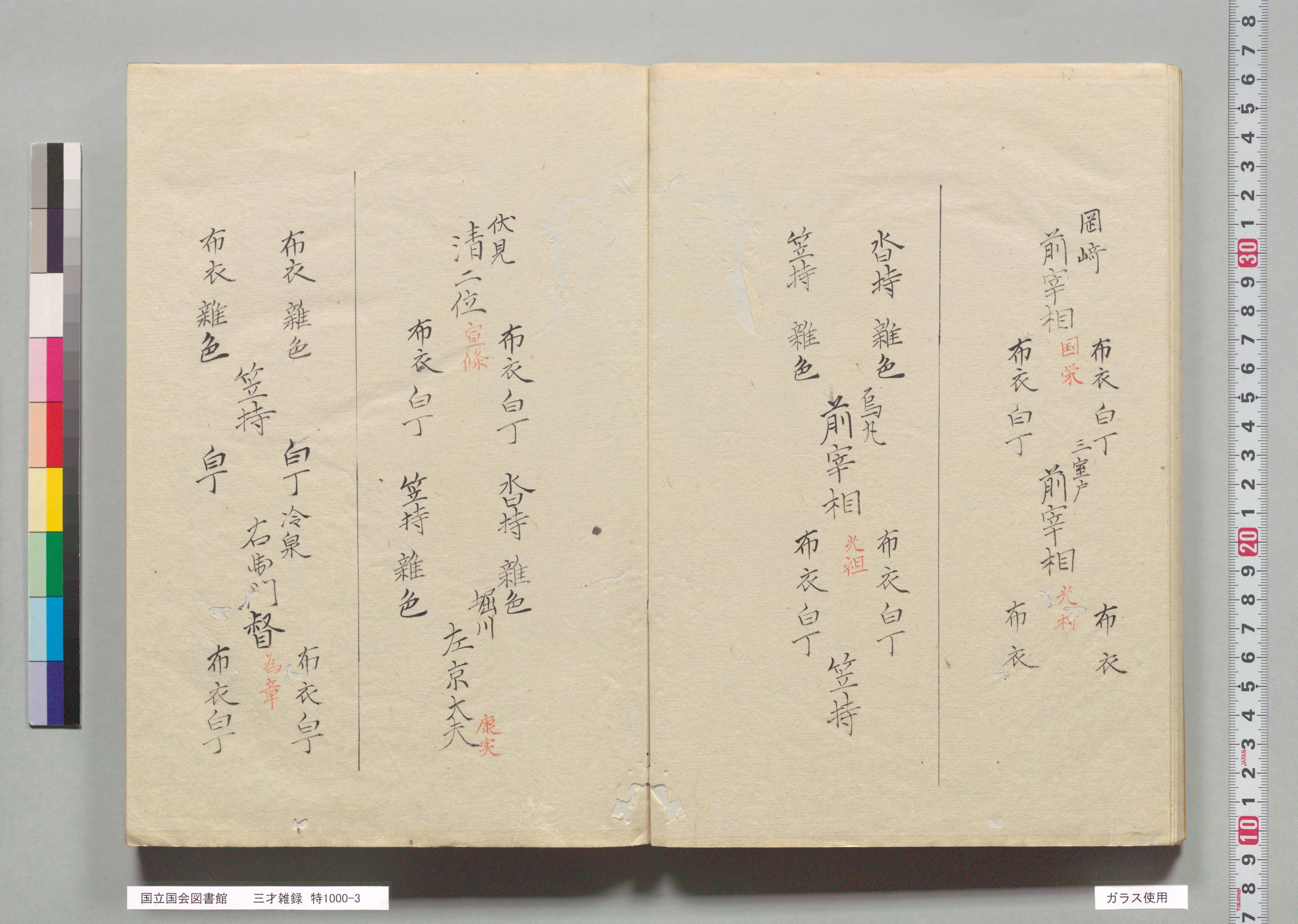
雜色　白丁　布衣　白丁

国立国会図書館　三才雜録　特1000-3

ガラス使用

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用



岡崎　布衣　白丁

前宰相 国栄　三室戸　前宰相 光利

布衣 白丁　布衣

沓持　雑色

笠持　雑色

烏丸　前宰相 光祖　布衣 白丁

布衣 白丁　笠持

伏見　布衣 白丁　沓持　雑色

清二位 宣條　堀川　左京大夫 康実

布衣 白丁　笠持　雑色

布衣　雑色　白丁 冷泉

笠持　右市門督 為章　布衣 白丁

布衣 雑色　布衣 白丁

布衣冐　雜色

大宮三位　貞季　笠持　石山三位　廿五陳

布衣冐　雜色

布衣白丁　殿上人　廿五露寺頭右中弁　篤長朝臣

布衣白丁　殿上人　植松中将　雅陳朝臣

瀧口　如木　雜色　石野少将　基綱朝臣　布衣白丁　布衣白丁　白丁

瀧口　如木　雜色

瀧口　布衣白丁　吳路中将　隆良朝臣　布衣白丁　布衣白丁　白丁

樋口中務少輔　雜色冐　笠持白丁　愛宕少将　通直朝臣

宣康朝臣　雜色冐

柔原大学助　布衣白丁　裏辻少将　公理朝臣

為弘朝臣　布衣白丁　白丁

国立国会図書館　三才雜録　特1000-3

ガラス使用

布衣白丁
布衣白丁　白丁　堤中務少輔　敬長朝臣　布衣白丁
布衣白丁　白丁

雜色白丁
雜色白丁　白丁　小倉少輔　見季朝臣　布衣白丁
布衣白丁　白丁

山科少輔
忠音朝臣　布衣白丁
布衣白丁

坊城左少弁
俊親朝臣

兼室右中弁
頼凞朝臣　侍　如木雜色白丁　勸修寺侍從
如木雜色白丁　良顯朝臣

侍　如木雜色白丁　八条修理權大夫
如木雜色白丁　隆禮朝臣　布衣白丁
布衣白丁　白丁

雜色白丁
雜色白丁　笠持　櫻井兵ノ大輔
氏全朝臣　布衣白丁
布衣白丁

五条侍從
為德朝臣　布衣白丁
布衣白丁

御前次殿上人四人

国立国会図書館　三才雜録 特1000-3
ガラス使用

供 布衣二人
白丁三人宛 御香 六位供同上 非藏人

上雜色 下雜色
上雜色 下雜色 久世出雲守

御目付
堀帶刀 百目付
瀨名傳右馬 公家衆
總同勢

武家
同 与力同心 京町奉行
与力同心 土屋伊豫守

国立国会図書館 三才雑録 特1000-3
ガラス使用

泉涌寺勤番　并大番　丹州亀山　松平紀伊守

般舟院勤番并火番　勢州水口　加茂能登守

右泉般扣　摂州尼ヶ崎　松平遠江守

御山事普請奉行　京町奉行　赤井越前守

泉涌寺賄　代官　石原清左衛門

般舟院賄　同　角倉与市

泉般方不掃除奉行　青木権之丞

山事ハ普請掛り　中村主水

京都火之番　稲葉丹後守

御恠御機嫌伺上使　高家　前田隠岐守

十一月十日京着　十一日院参　十二日京発足　中条大和守

御悔上使

十一月廿四日京発　廿七日院参　廿八日京発

足

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

御焼香上使　高家　土岐大膳大夫

十一月廿七日京発

北條分限帳一冊　王子村金林寺蔵

按ニ全書ニ非ス　相州早雲寺ニモ一冊アリ同書也

右ノ内略記ス

小田原衆所領役帳

一松田左馬助　西郡苅畑庄

千弐百七拾七貫七百弐拾文

内

弐百文　注前ト殊ニ知行役辻

弐百七拾七貫七百廿文

自昔除役ヲ為目今没ス

外

百五十貫文　入乃川印旛地辻
内
七十五貫文　当年改修寺役
合千七十五貫文　知行役辻
外
注ノ趣大分ニ如此今按ニ不分明故ニ畧之

一松田筑前守
六十弐貫六百六十一文　下小坂

一松田因幡
百三貫九百七十一文　西郡今井ハ寺分

一大肥詠　今ハ松田兵部丞
八十六貫八百五十九文　今井ハ寺分

一乃宿隼人佐
廿六文五百廿六文　入西勝ノ内

一蔭山刑ア左衛門
百文　豆州田方原木ノ内

一岡上主水助
十一貫二百廿八文　入西郡原木ハ

一大草加賀守
弐百廿六文四百廿六文　豆州田方南條ハ

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

一南條右京亮　西郡宮地
百五十七メ五百五十七文　延沢
一西京善右衛門　豆州畠々
百五文
一高麗越前守　西郡小八幡
四十五メ文
一五十メ文　下中村　渡邊左衛門
一五十メ文　同所　西右衛門
一廿メ文　東郡寺尾　後藤喜三郎

一五十メ文　中郡堂内　大藤源七郎
一百メ文　豆州仁科々　渡邊弥八郎
一廿一メ五百文　老木平田ニ伏　渡邊弥八郎
一六々取
廿五メ廿四文　江戸田　六々大業分
廿四メ百四十五文　小机領　星川
廿二メ文　向星川　星川立物
三メ四百文　六々内小花和

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

廿メ文
以上百五十メ三百六十四文　川越内脇ノ

一　三百四十九貫　郡田々　東郡今里
二百八十メ文

一　松田新次郎
二百八十九貫六百五十文
西郡川村　松田西分　東六反

一　笹窪民戸丞　西郡笹窪
百四十一メ九文
郡ノ村　沢山　不動院分
金子下ル

一　笹窪修理亮　東郡荻窪村
百廿七メ五百文
西郡了義寺分

一　布施善三
弐百四メ五百廿文
月廣川　小机下九子　中郡戸塚
武州園戸山木

一　布施隼人
三百九十一メ九百七十四文
中郡寺尾縄　白根ノ内おさ家分
同枝戸　豆州小坂

一　新田
三百廿二メ五百五十五文

東郡菱沼　中郡飯山

一 壹山左曲　三百四十メ文　白根内

一 大橋　五十メ文

一 加茂大蔵丞　廿三メ四文

一 宇都左京亮　三百メ文

一 安田大蔵丞　六十メ文　東郡長沼

一 蜷川源三郎　三百六十四メ三百五十文

一 矢部弥次郎　八十七メ五百文

四馬四疋紅引役し帳

一 山角四郎左曲　廿百メ五百文

豆列物地田沢湯ケ沼中郡小矢奈

豆孔東浦赤沢

一 山角四郎右曲　三十メ文

一 井出兵部丞　東郡飯塚

百十七メ三百九十一文

一山角弥重郎　四十メ六百文
一浅妻兵衛三郎　三十五メ文
一笠原茂左衛門　百九十一メ百八十文
　豆及名古屋　東郡泉村　小机八郡
一茂田大蔵丞　三百五十一メ八百八十七文
　西郡成田中郡石田
一紫茂新六　五十五メ八百文　又西郡九郎
一宮川左近将監

一玄川弥九郎　四十メ文　三浦栗山々中信
一賀茂宮　百十七メ八十文　元野
　西々ゟも宮々浦迄　私子
一坂口長十郎
　百一メ九百八十二文
一松田助六郎
　三百廿七メ六百二十一文　中郡萩地村
一石巻下地村
　三百七メ文　西郡飯田村
　豆及塚山中郡産内村　一
　小机角久

一 石巻亮六郎 八十メ文
一 長田但馬 百五十三メ六百文 東郡留田
一 石巻正壽 五十メ文
一 石巻亮四郎 六十三メ文
一 大谷十郎左衛門 五十メ九百文 江戸小路蔓地分
一 坂巻恵右衛門 五十七メ九百文
一 玉井平六 三十メ文
一 伊東九郎三郎 二百廿七メ二百八十六文 西郡加山中郡
一 豆忍伊東一

一 松下三郎左衛門 廿二メ文 西浦
一 化科五郎三郎 廿メ文 大示古屋
一 渡邊与八 廿メ文 社領中村
一 桑原弥七郎 二百廿メ文
西郡金井橋 中郡波多地区泉 三浦郡
宮田ノ内 河越伊豆九
一 桑原五郎左衛門 四十二メ五百文 中郡幸
一 瀬伽井坊 三十六メ九百文
西郡大井保安寺 松山地原
一 狩地大膳亮
五百十三メ四百三十文

豆及連 墓寺江戸仁佐布 古見郡
言本小八村 西郡飯田内 三浦和田 西郡
蒔川 豆及大川同小坂ノ内 中郡長谷

一 岩本太郎左衛門
百八十七メ百六十七文
東郡豁沼 三浦平佐久 川越

一 宇野藤太郎
二百九メ四百六十三文 松山筋

一 奈倉加賀 三十六メ八百八十六文
入西郡下河原

一 百宮安太郎
七十メ九百四十四文 東漸寺分

一 朝倉右京進 四十四メ八百十五文
豆及 鎌田 西郡大窪分

一 庄弐ア小浦
三十三メ五百文 西郡吉田谷 中郡小脇内

一 横地与書助 四十八メ五百八十文
西郡飯田 堀田

一 渡辺太郎左衛門 九十五メ文 中郡七沢

一 山角刑部左衛門 八十一メ四百廿四文
東郡冨塚

一 畔田半四郎 六十七メ二百六十七文 中原

一 岡崎修理亮 百八メ六百五十四文

国立国会図書館 三才雑録 特1000-3
ガラス使用

豆沢長溝　久良岐郡　岩引
一菊池仁右衛門　四十三メ文
一太井茂左衛門　六十一メ八百十二文
一朝倉弥左衛門　三十二メ文
一久米玄蕃　百七メ六十七文
西郡石場　東郡瀬谷　西越筋森戸
一勝郡小三郎　八十メ文
一秋父孫四郎　廿五文
一幸田右馬助　四十三メ五百文　中郡寺坂
一秋葉又次郎　五十一メ五百五十文

一朝倉又四郎　百廿六メ七百三十四文　古田郷
一関兵部臣　百九十七メ七百九十四文
東郡羽沼　鶴乃飯塚　火柴　小槻　宮川越
一関弥次郎　八十五メ七百六十文
一海保新左衛門　廿二メ四百文
一沼畑　五メ文
一大草左近左夫　百七十一メ八百八十八文
東郡小矢戸
一大熊佐阿亮　廿八メ九百文　小机　元平郷
一金山弥書助　九十メ文　上矢内
一左新四郎　百四十一メ六百十二文　小畑

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

一清水弥左衛門　四十六メ百廿五文　中郡アメヨ
一清水与三左衛門　十八メ文
中郡知村　奈古谷村
一西今右京亮　八十一メ文　中郡谷波
一諏訪郡右馬　四十メ文
西郡正安寺　多田ノ内
一長九郎左衛門　四十一メ文
一寿昌軒　四十一メ文
一中村又四郎　三十五メ文
一安藤源左衛門　五十七メ八百十七文
一横沢監物丞　廿八メ七百文

一中村幸松　廿一メ五百文
川越仙波内　江戸筋
一西原小三郎　廿五メ文
一中村平四郎　五十八メ文　江戸四陽宿内
一久保　廿九メ五百文
一今井源三郎　十八メ文
一石川源次郎　廿四メ五百文
一祢尾越中守　六十メ文　小机ノ世代
一鵜山源太郎　四十一メ百七十五文
一内村新三郎　廿二メ文

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

一 岡本八郎左衛門　五十九メ八百文
一 岡本弥太郎子　五メ三百五十文
一 宇佐源十郎　二百メ四百六十文
一 菊池右近丞　廿メ文
一 宗甫　三十四メ五百文
一 鈴木大学助　百廿メ文
一 坂田　七メ七百文
一 新田又七郎　廿メ三百文
一 戸田新右衛門　二百十七メ七百六十文
一 田中糠田甚五郎　廿一メ六百五十文

一 谷泉　十八メ五百文
一 勝田八右衛門　廿五メ文
一 仙波弥七郎　三十メ文
一 布施蔵人佐　八十文五百文　小机麻生
右之人数十四前ニ一切役不勤之旨令後
もこのゝ子孫但四月ノ前大普請又四月過
普請大ハ不人数入今時ハ百仕ハ旬論
ハ子時ハ此彼此然言辺て中付七辺術
如件
永禄二年己未二月十日

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

玉縄元知行役

一 左衛門太夫殿 七百十二人ゟ内 東郡村見上
下豆ゟ平井代中郡彦畑郷 下畧

一 朝倉孫太郎 二百十人ゟ百十ゟ
豆ゟ下田源傳掃傳三浦三戸

一 朝倉右馬助 二百廿四人三百四十ゟ
三浦ゟ郷同居場ゟ玉川

一 間宮豊前守 六百九十八人百廿二ゟ
久良波郡松田 東郡小萩同玉ゟ江戸川傳
小机未吉

一 行方与次郎 三百六十一人廿四ゟ
六郷大師河原共 菖蒲西寺傳

一 渋谷又三郎 六十ゟ貫四百ゟ
江戸六郷内大

一 福原左衛門 二百廿人ゟ百ゟ
東郡大庭 西郡仲ノ郷

一 川瀬 六十ゟ貫ゟ
東郡須崎 あゝゝ

一 川上宮内助 廿八人二百ゟ 下鈴田

一 福原四郎右衛門 廿七人二百八十二ゟ小机

一 窪田又五郎 十人六百十八ゟ

国立国会図書館 三才雑録 特1000-3
ガラス使用

一吉田勘ヶ由　五人　九十メ
一花木隠居　百六十九メ百文
一関新次郎　八十四メ三十二文
一神保孫三郎　六十メ五
一堅渕兵ア少輔　五十メ五
一言尾

已上

右南方諸侍知行役ふ分明ニ成遂
糺ハ眼前ニ定ル事ニ付而ハ本帳奈
如件

永禄二年己未二月十日

奉行　大田豊後守
関兵ア丞
松田筑前守

筆者
安藤豊後守

一江戸表山丹波守
九百六十三メ三百文
西尻松田兵領分同
江戸四上川同中郡
外千八十五メ百三十五文
此金郡地ヶ入ル郡哲林菖西表一戸

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

小林井ノ葉代ニ東小松川二ノ江茶屋上下
葛西川原貫小松上下一ヶ宗役亀梨
曲金西丁江金井小合
一壱山茂六　八十四メ二百八十七文
西郡葛蒲川江戸警沼幡ヶ名
一遠山弥九郎　百廿メ文
江戸屋中　豹込　新堀
一栗原右京進　百四十八メ六百五十文
西郡吉田佐世田ヶ谷弦巻江
一栗原修理亮　七十九メ七百五十文
中郷田中江

一越紅弾正忠　百六十三メ二百五十五文
中郡三田江
一小野兵庫助　八十五メ四百五十文
西郡行松江
一百十一メ五百二十文　小壁泳
中郡真田
一伊丹右兵衛大夫　三百四十八メ二百文
久良岐郡金利谷
一萩野　石丸十四メ七百三十三文
久良岐郡大壁江葛西金町ノ内半弘
一森新三郎　九十一メ四百廿九文

一　久良岐郡井出ヶ谷江戸ヨリ中新居
小菅村迄　九十メ八百四丈　稲毛小田村
一　川村迄　百七十メ五百六十丈
中郡渋沢　江戸ヨリ井田新倉月泉村
一　森弥三郎　四十七メ五百四十丈
江戸ヨリ荷方　かき松年代
一　中條出羽守　二百四十二メ四百廿丈
荷四代　大串内匠方
一　大胡　百七十七メ二百十丈
江戸ヨリ牛込同代　宿ヨリ葛西堀切
一　豊徳軒　二百九十四メ五十丈

東郡長尾　金井記　登郡　古郡柏崎　共同　今泉
足立平柳　葛西金町　吉見郡久　米川
渋江香林寺　石井村久下近取○屋敷
一　真津　切畑　二十四メ二百十六丈
境井孔
江戸後合横田内三尾孔　小田向孔
一　吉原新名橋　七メ七メ三百六十丈　戸ケ崎
一　函嶺　隼人伏　四十七メ二百七十二メ弐百丈
一　曾田　中勢丞　二百七十二メ弐百丈
江戸下平川内　かさい小宮　飯塚奥戸
一　輪飛　四十八メ三百七十七丈
西郡　長珠寺　内梶原孔

一 平川左衛門　廿二メ四百六十文
一 太田四郎兵衛　七十メ文　赤那坂戸内
一 遠山隼人佐　十五メ文　江戸下平川
一 上原出羽守　百十六メ二百八十文
小机市ヶ久良岐郡富岡
一 原田　七メ三百四十文　江戸下谷長
一 細谷三川守　十七メ五百文　三川海
一 蔭山大膳亮　十七メ五百文　江戸三川橋
一 秋山　十六メ文
一 中村平三郎　廿メ文　竹松内

一 窪寺大蔵丞　四十九メ文　ながい猿俣
一 市橋
一 武田政　百廿七メ文
一 久良岐郡六浦木曽谷
一 大森政　四十六メ五百文
一 小下治ア少輔　廿九メ四百文
言森郡大谷村
一 谷上　十八メ文　内笠幡内
一 千葉政　四百七十五メ文
江戸赤塚六ヶ村内新倉小机上九子
ながい上平井下豆立渕江　沢田村

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

伊與村　保木乃村　寺住村　三まさ内理村

一　森村　大窪村　大久窪　土ノ久四百八十文

江戸石濱　金津かさい堀内

一　糸城村　五十ノ久二百廿文

六ケ村　鎌田　石田　江戸上理

一　須津源四郎　三百四十ノ久百六十文

西那柴原ケ小原川内清林院分　千駄谷

小石川内　飯倉内　上理内　金乃木内

十ノ瀬那原川筋六ケ村　新ノ木　永福寺豊後

内清光寺分　此外尾久百六十ノ久百文

一　須津文仁郎　百三十ノ久九百五十四文

柴原ケ内　小原川

一　太田新次郎　廿二ノ久五百文

江戸原宿　川越鴨田　江戸横田池分

一　梶原助五郎　三十二ノ久六十文　江戸鈴辺

一　須津弥七郎　五十五百廿文

千束ノ内　扁沢　六ケ　三田坂

一　石井　江戸横山分五ノ久三百文

一　蒲田助五郎　三十ノ久

六ケ堤分　稲毛庄木月ケ

一　飯倉弥五郎　十五ノ久五十二文

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

千束之内金杉村　飯倉内
一太田大膳亮　江戸芝崎一郡
一木曽塚稲毛矢内日平右日深堀照久
　　五百四十四文五十文
　　源太寺分ハ外略シ
一　　十二文五百文　宇名沢
一　　六文六百八十五文　石濱
一　　廿九文七十二文　南京
一　　十二文文　　苅地
一　　廿二文八百四十文小田向弾正やしき
　　日弥三郎但太田新六郎
一　　小幡源次郎　四百五十九文三郎文

太井山田　白枯山田
一　　佐渡守書助　百八文
一　　小幡勘ヶ由左衛門　四十五文
一　　冨永弥四郎　千三百八十三文七百三十文
　　此内江戸牛込四ヶ村アリ
一　　諏訪三川守寺尾二百文
一　　冨永石右衛門　四十八文六百廿三文
　　入来郡福田　江戸多摩
一　　鈴倉平次郎　百八十五文九百文
　　豆沢拘名内　木毛川
一　　太田新六郎分

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

江戸廣沢三ヶ村同志村世一給瓦日岩渕
又ヶ村同平塩本仁日豊源日比冨方日長
徳同雑司谷中池内伝伝ヶ谷江戸石沢井
与田内赤沢分日添田分同田無南沢六
仁雪ヶ谷角波川小弱井本仁日不忍戸
稲毛木内小机潮田同小惟江戸廻十条
内茶田分同小糀分同不尾久伝舟方不川
内布田寺分稲毛竹内日龍泉院分江戸
大根京千束内三戸分地袋　以上九百
三十一メ三百八十四文
分稲毛小倉三橋分江戸高合玖本分
下法谷奥法分千束石濱上屋分江戸

古志田分中沢大場小机潮田江戸瀧野川
同中采市谷同屋敷同廣沢内同今井同
石原内同十条内同奥州弓石永井内石
原在家与田内菖谷音面内五家千束内
伝伝石分江戸平場内田端在家六仁内一
倉蒲田分稲毛庄方分日法江戸
飯倉内小原川日戸塚内六仁内極楽寺
戸越村日根岸稲毛長尾村江戸江古田
日石原六仁内入不斗江戸弱井宿伊原内
板橋日大石口日志村内稲毛廉路小田中
江戸三田内寿楽寺分日渋谷川梶原塚

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

内訳田内新堀沼三田内三福寺蓋地
徐宮城　以上四百八十九メ九百文合
千四百十九メ九百文

一太田源七郎　江戸四日正年村横田内
三十六メ五百文
一梶原同向ヶ　六ヶ内新井宿
五十一メ文
一龍崎文四郎　百十九メ七百四十文
江戸湯治ト石原
一泥田弾正太　九十三メ二百五十文
稲毛三田村江戸下平川ヶ分一日りさいの

一平塚茂右衛門　廿メ文
平塚ノ内西ヶ原
一鈴田新三郎　廿八メ六百八十文
六ヶ内道沼
一中村平次左衛門　四十九メ八十文　江戸続き
一牛久新次郎　廿七メ九百文　六ヶ入年
一記善孫廿茂　廿五メ十文　入年
一板橋又太郎　七百文
江戸板橋内毛呂分
一葛山　十一メ三百五十文

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

一 中田茂次郎 十五メ百八十文
一 赤沢千寿 十五メ文 江戸高田内
一 中村平次郎 十三メ文 同
一 本位坊高頼 十八メ四百五十文 三男
一 柏木角右衛門 十二メ文
一 小田向孫兵衛 外廿メ四百四十文 是ハ浦津内ハ江戸小三郎屋敷
一 大通寺領 二百六十メ文
一 故茂伝前寺 百九十四メ八百三十九文
一 菊池掃部亟 八十メ文
一 石川瓦四人 八十五メ文

一 大石寺弥三郎 三百五十一メ五百五十六文
一 波茂助次郎 十五メ文
一 波茂恵次郎 四十五メ文ヨ
一 狩茂大郎九恵 二百四十九文 西上総ヶ内
一 佐木二郎三郎 百メ文
一 渡辺次郎三郎 百廿メ文
一 吉田又三郎 百九十メ九百七十三文
一 山中内匠助 二百六十八メ四百廿三文
海老名
一 新茂小紙寺 六十三メ二百廿九文
江戸雪ヶ谷

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

一山中孫太郎　四百廿四メ五百三十七文
一勝瀬孫六　六十二メ文
一川庶　六十四メ六百七十二文
一小爰大炊丞　三メ文
松山庶
一物頭丞　七百七十一メ五百五十八文
一物頭爰八　七十メ六百文
一物頭左近　六十九メ五百文
一永尾石四郎　八十メ文
一安宅大郎二郎　一メ二百十五メ文

一小守右馬左衛　六メ五百文
一芝田亮八郎　廿メ文
一物屋兵ア少輔　六十四メ三百十三文
一太田豊後守　五百二メ九百廿二文
一太田十郎兵衛尉　廿七メ七百七十九文
一板倉修理亮　七十八メ文
一吉村助五郎　七十六メ文
一堀和又太郎　千百廿九メ六百七十五文
一堀和亮十郎　五十メ文
一渡辺丹後　廿七メ文

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

伊豆所

一 笠原英作ゟ　百四十七メ百五十文

一 肥田　百メ七百四十六文

一 仁杉伊賀　六十メ文

一 清水太郎左衛門　八百卅九メ文

一 村田　七十メ文

一 清水小太郎　四十五メ文

一 西川彦四郎　十六メ文

下畧

一 秩父次郎左衛門　五百七十八メ文

一 大見所三人　百三十メ文

一 西原次郎兵衛　廿メ文

一 三宅　十メ文

一 倉地　百四十メ文

一 伊奥九郎五郎　五十五メ文

下畧

一 大谷善左衛門　八十メ文

一 山中彦次郎　二百四十五メ

一 相良四郎　百五十メ

一 津久井所内彦左近将監　千二メ八百文

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用

一内義兵ア少　百メ五百文
一井上加賀守　六十五メ七百文
一井上雅楽助　十二メ七百文
下略

此書高野山宝院ニ有之元禄年中
正月武州豊島郡長一王子別当金
蒲寺第五世宥相法印写之予懇望
之再写之者也

安永八年五月廿六日　源三位頼政卿
六百年追善和歌

寄橘懐舊　冷泉前中納言為秦

のこる名も言葉ぞ花よ橘ぞ
香をゝくはしと思ふいにしへ

日野前中納言資枝

橘の花ちる塩よりのいふぞ
後世のいとさきしれの比

代々切へてまくちの四名言記古へを
花さのへらや白ふ立たれ　三宮戸部冬木
　　光村

その〜ぬのその代志のへいりあり香よ
名も橘れむらし袋そ名よ　鳥丸前冬成
　　光祖

年りぬ香切小しも形見ら橘よ章
ことを記さられをたふこのた　次泉右兵衛督

梓弓てての月四よ立らへす　安谷右兵衛督
袖のらしるき橘の陰　乃敦

名を何よとさへ花さへ色へ　外山刑ア大輔
名よ立むのむらしそいらや　光実

何てふりぬけてその名も橘れ　鳥丸前大納言
むらしよ恵ふ変よよ有ひて　卜山

ちもよりふ菅の根を結ぶ三たりの
香ふりく春ふかしの葉
花のう

松平大膳大夫
宣就

あかつきのさゝ分衾の橘よ
ぬるしよりふも君ゝ恵ぬ

松平右京大夫
輝高

春ふそよ弓ふるゝ言のたの
名よりち花のふりしる香を

松平土佐守
豊雅

ゝよりゝ世ぬこそたちく袖ふれて
人香よ春めゝ袖の橘

松平隠岐守
定輝

おもひやりて花橘よ忍てまし
昔の人の袖のあひぬ

酒井雅楽頭
忠次

袖の香の結るとまけいまへぬ
春のふしまる彩の橘

酒井左京亮
忠徳

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用

世をおくりたるのあるもうの
ものをうけて白ふ橘　松平甲斐守　保明

古を恃こそあらへ
いや栄ゆく朝の橘　牧野備前守忠精

色素つるむしもかくしの
きくと白ふ朝の立花　大田備後守資愛

松平山城守信亨

五月雨のふるき世たちふ袖の上に
袖ふりきくして白ふ　ちかた

年へても恃やちの
名よりちかの芳ふへて　木下肥後守利忠

朝過き花橘の
ときき苔の志のいれそまる　三浦備後守前次

きてしたの忠ふ昔をしのちかの
おしへそ香よ白ふ　加納備中守久周

津田日向守信之

霧結ふ新宮の風はしたかに
ゆてそ思ふ山もへの宮　石野平蔵廣通

橘も老の涙さそ
むかし思へと形見なりけり　有注

橘のなりしたもとに
むかしを思ふ袖の露かな　牧穂八十吉忠義

池田修理政以

[illegible]
[illegible]
橘のなりしたもとに
[illegible]
[illegible]
橘のなりにつけて古を
思ふさろきの月
[illegible]　近衛吉左衛門義
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]　三浦平八和貞
[illegible]
[illegible]

古の袖も[illegible]
[illegible]橘の[illegible]

宮部源八義正
[illegible]
有注

[illegible]

日京馬　義直

[illegible]

浅井権二郎貞固
有注

[illegible]

大井市兵衛義陳

今も風のこゝろをしたちかの
さくいしき名よ[illegible]

萩尓　宗固
有注

古を君ふ袖やしら袖も
多くふるふ旬のふるちかも

伊夜　松彩

[illegible]
[illegible]風の橘

為春仁妹

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用

朝ちりき橘のまほりに
殺しのはてよりのふること　松平甲斐守黨　永子

そのそのおふちちまるの袖の雫
ふりしぐれ代をしぐるる袖の雫　秋雄侯ちゝ母　亨子

陰言栄行朝の橘よ
くハしき名をちのふるのたて

家ふりし朝の橘匂ふ　青山下総守妻　高子
むらをうけてちのふるのたて

曲渕甲斐守母　妙性

その名さへ今ハ
ちのふりはる朝のしたちたる　あに弓き古城

村雨の宮きりけ
ふりをとへを匂ふ　義正妹　乃女

をくへてを四し
うよちのふ乃朝のしたち　有注　日妻　茅女

発句

代こよ繁き名ハ立ぬの包ひかな　松平英濃守　輝和

今萱橘よ志のふ芳かな　毎年勤員仕忠省

花よ実にそのそ思へ芳艸　坂　昌周

世よ言き名も橘のむかーかな　瀬川　昌泰

橘よ昔志のふ也そ名かな　月　昌徳

橘ハ昔志れ如色かかな　坂　昌文

砂ち春も花橘の白ひかな　山田御ア　直政

そ名さんら橘の名香かな　坂助三郎　資周

枯也如名よ橘の白ひかな　今西助四郎　義啓

橘ハ志ぬ志ん志に香こめかな　日輪寺　其仙

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

菅沼織部正子梶家工養子ニ行後
離別被召出梶金平ト改ム本多家
梶金平一族ニテ其節梶旦ト云
左兵衛佐ニ任シ従四位下ニ叙ス

法号

従四位梶氏源定良照光院同嶺円心
大居士元禄十一寅年五月十四日俗名
梶左兵衛佐言二千石日光住居
大猷公御霊屋ノ後御山ノ内墓所
在

右家臣筋ノ者南時日光御殿番
お勤小姓谷助ト云由

寛永三丙丑年御上洛ニ條御城行幸ノ
時定良十五歳母方叔父梶次郎兵衛
養子約定
翌戊寅年日光山ヘ引越天和三
癸亥年五月山ノ府官位並御付四品
行年八十七歳平野別日光私亭

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

壷井翁座右必記ノ内

一内大臣をかけあひしく布と云る家郷
夢しめひて此仏のいとこの記なれりさ
ハかけあひし星よりちつきて見へつ
此令大納言あまかりめひれいこ
天木雑十七大臣　建保二年内大臣家
百首歌
代をてせりけあひし星の位山
彩さりもうん未ふもちろよ
又玉吟集よ

かけあひしこの笠の山の雲のむ
朝日さしあるる雪
八雪ハおたれを三笠山とふ君のおほ
ひるまる官こ内大臣の大ねの官よりり
久ル不ナラン
義知按ニ影靡ハ三台星のかけあひし
こ又内大郎ハ三公の負外こやりて三公ニ
肖任シ官こ加こりけあひし星と云
又玉吟の三笠山とハ大ねの異名こ
一春を送るよかさしと用る事天木ニ
山吹をかさしよすれハ始も井出の

ゆくすゑの枝にて見れ　按に今世有
基のおいきなして黄の木の葉をしぼり只
基の色のかはるをのみ心得るハ誤
歌へし山吹きりさしてよめるハ
知へし只上のかさねの風流を見へ
しる

一九月十三歌月を歌事凡宮内卿經
集せいまし殿のこゝろをつまるところ
已をめらるゝ歌まつ延喜十九年九月
十三夜その夜ん せさせ給ふその心のさい
ゆう人と歌なり

そゝ　おの大宮あるゝ　やそしま　を見る
仏ちまる秋の夜の月
一　ちまの川の事　或人の勘　ちます
とゝふいとかゝあきやを　をれをれ家
ひさ歌　されい住居と云も立かたき
中よ　をもゝ　新拾を集
秋風よおれ　ゝ　ゝ　ゝ
ゝゝ　ゝ　ゝ　ゝ
一　班鳩宮　和名伊加流加乃美也　宮よ班鳩多かるか
を　の名　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ

一 戯下ノ一薄書灌夫傳ニ至戯下 師古云戯侍
ニ旗也

一 三ケ夜ノ餅の下中右記寛治五年十一月二日
丙戌女御入内ニ後有三ケ夜餅事 使餅ハ
民アリ経信所ニ調進也是高手ニ人所役
也者紫檀苔有懸鉏 玄鷺形紺地唐錦
折立有蓋銀杯三盃餅 洲濱以鶴形置銀
ハ箸 玄鳥ノ一見月令史記

一 五十日ノ一明月記三十日元久元年六月二日
若宮御五十日於鳥羽殿ニ行下畧
弦袋ノ一盛衰記ニ長兵衛尉信連ト云

弦袋ハ像ノ内侍所御貌左右ニ衛尉ハ
赤革左右恵ノ尉ハ藍革
内侍所御貌ハ是八花形ニ此鏡ノ□見新
裏雑要抄

一 楊宮ノやおひたてよむ事 明月記廿日
元久二年十二月十五日元服箭ニ先冠
置柳葉蓋 次沓杯不居置柳葉座左
置座右
你氏ないやおひたてこと字のてこ見へる
り後ろたへやおひたてふハ明月記
おてのた字ようて考へき事り

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

一 鳩杖の事 後漢書 礼義志曰仲秋月
縣道皆案戶比民年始七十者授之
以玉杖鋪之糜粥本ハト十九ハ礼有聖
杖長尺端ニ以鳩鳥為飾者不饐鳥ヘ
欲老人不饐
支木九為
男山老の坂 引人ハミな
たとの杖 ましかるを ゆるすて 秘事ヶ
一 書海波の古歌ニ波及て秘事ヶ
ためるこれなしとて
一 將軍の唐名を柳営とゝふ事前漢
書周亜夫將軍ト成て長安の小細
柳の地ヶ営を構へしよりゝ
一 土佐家三十六人歌仙ノ号
右ニ人九 冬直衣白ヿセシリやう裏ウスハナ
ぬ袴ハナメハ茂
左ニ 鳥帽 袍黒ウナシ 如袴アサキ色文
右三家打 袍黒ウナシ 裾白フセシリやう衣袴
八茂
左四業平 其形衣アサキ文ミヘスキ
奴袴ウスキ色トリムスキ平
緒釵弓箭

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

左五素性スケンケサ奴袴アサキ色文

左六猿丸物衣赤キ色文 黒紋莫奴袴アサ

左七兼輔莫袍黒文ハナシ裾赤

以下同流布同

右一貫之冬袍黒ワナシ表袴白裾裾白色文裏黒

右二伊勢唐衣アサキ掛黄袴赤

右三赤人物衣赤文唐花唐草奴袴アサキ色文

右四遍照俗云衣香色ケサ紫文白奴袴

右五文則袍黒文ワナシ表袴白裾アサキ色文

右六小町桜細長表白裏紫桜文掛赤草モヘキ袴濃紫表袴クワニ散

一小袖の事兵範記久安五年十二月十日ノ條ニアリ

一大樹の号ハ後漢の馮異ヲ故事ヨリ起レリ近世征夷将軍ヲ大樹トスモ大将ヲ兼ネ有ル故ナリ

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用

就賀茂の事澄歌少て後二條院の
御代正安四年六月後宇多院賀茂
社より幸ありける時供奉よさむ
れける人と歌をさぐりてかつふまつ
りける社頭矢と以事を
天下るる雨の跡ゆくもくらぬ雲を
今は乃と為
前中納言隆房
又家國祝と以ふ事を
傾くぬ速日の峯よ天降るかのみまこ
の玉を敷ま
法皇御製
新拾遺
賀茂修文

てをの代おさ後まきて守りし雪を
見けてし跡のちくい
夫木雅経
三木
かも山の言根よかろう白雪やとを蓬し
名ゆの京の通路
新古今かもの御子をん
我新む人りしつよ年たてい文雪
見けてしる年を
近世俗ろよりて書よ賀茂上の社
を瓊杵尊と以ふ俗家とて出せり
何よおろ本書を孫コ子

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

[illegible]氷代り[illegible]
つき[illegible]
上宮太子記云小山の林下より月氷の
意化して百王を[illegible]る霊氷ま
しまた例なる大内氷の小事

大内山の沢歌の事

大和物語より堤の中納言内の小使よて
大内山より院のみうとおいしまたよまう
後も相心なりけるおいしまた
いとなれく言きあはれいたもう

いとたのしくものさたちのるるとよ見え
きれいなるもん
たしかものの九まよ[illegible]ろ祝れハ大内
山とよまよ[illegible]

常手書の歌の事

玄と集前内大臣家會茶湯雜
あまたち侍なれとをかけて見ぬせは
浪のいちはのあしてくり

何合七書右

宮れの肥後守のすくかきを
いちうそもる事の名書
天徳合歌名序ニ
ちる飛ハ藤芽よりしてかきの筋ゝまり
何もしのぶをおるひハぬちの赤そ
ごあしてをぬハ物よしゝ
源氏物語桜人あしてら意を
何ゝかなニ
何ての島葉ハ蔦の葉ハの中ゝ文字を

水名ゝ名ゝの物ゝさま手あ尺ゝ中岩
和歌のさゝの葉手ゝ文字の新篠の
葉ゝ似ゝゝてきゝ

錺抄ニ　組地平緒
執柄家綿芦手

一寛定三年庚午八月廿六日二條御
城ノ御天守雷火ニテ焼失
今年書記

1000
3

戸田和泉守
酒井飛弾守

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用